



表紙 黒崎太鼓
(黒崎町公民館)

報告 公民館全国セミナー参加報告

視 点 一人の百歩より百人の一步

ひろば 公民館活動の現状に思う

実践記録シリーズ 柏崎市北条生瀬学習のまちづくり

サークル交流 つくしバンド (糸魚川市根知公民館)

リホーム洋裁教室 (津川町公民館)

素顔拝見 植木馨さん (柏崎市)

金井元樹さん (牧村)

第3回 理事会開催

平成11年度の事業計画概要(案) できる 社会の変化に対応した公民館運営を図るため

全公連・関ブロ公連との連携強化を

去る2月22日(月)、新潟市中央公民館において第3回理事会在開催され、当会の11年度基本方針・事業計画並びに収支予算案、「第50回県公民館大会」など、報告事項3件、審議事項7件が協議され、ほぼ原案どおり了承され、新年度が協議され、ほぼ原案どおり了承され、新年度

報告事項では、平成10年度の
会務報告、関ブロ公連第2回理
事会報告(詳細は、下欄関ブロ
報告参照)、第10回公民館全国セ

ミナー参加報告(詳細は、4
5面、同参加報告参照)等につ
いて報告がなされた。
○審議事項では、

の体質強化、⑤県公連創立50周
年記念事業の準備等の五点を重
点施策として事業に取り組むこ
ととなった。

一、新年度の基本方針・重点事
項・重点事業計画並びに歳入・
歳出予算案について

このうち、「県公連の体質強化」
では、2力年計画で人件費の削
減、是正に努め、また「創立50
周年記念事業」については、平
成12年度第51回県公民館大会と
併せて開催、実施の方向で、検
討・準備を進めることとした。

基本方針では、21世紀への境
界年である本年は、地方分権・
規制緩和の推進が図られ、また
生涯学習審の答申を受けた社教
法改正等の動きで、社会の変化
に対応した公民館運営が更に強
く求められるとし、そのために

二、第50回県公民館大会開催に
ついては、主管の中越公連会長
から概要案について提案され、
その方向で了承された。

は、全公連、関ブロ公連等との
より強い連携・強化を図る意味
で①に上部組織との連携・強化
を位置付け、ついで②職員の資
質向上を図る研修事業の実施③
情報提供事業の充実、④県公連

要項の詳細は、次号4月号に
掲載予定としている。
なお、新年度の理事会・評議
員会は、5月21日(金)新潟市中央
公民館で開催予定としている。



新潟市中央公民館における第3回理事会

情報提供事業の充実、④県公連

公民館で開催予定としている。

関ブロ公連第2回理事会在開催

第40回関ブロ研究大会を中心に

—本県担当分科会は

今回も「地域づくりと公民館」に

去る2月8日(月)、静岡県庁別
館会議室において、第2回理事
会在開催され、会長・事務局長
が出席した。

議題5件が協議され、ほぼ原
案どおり了承された。

(1)第39回関ブロ研究大会の収支
決算については、大会事務局で
ある山梨県公連より報告がなさ
れた。

(2)第40回関ブロ研究大会開催に
ついては、担当県である静岡県
より要項案が提案され、大会趣
旨の文言一部修正するというこ

ととなった。

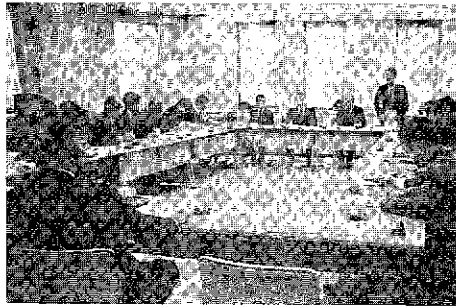
(3)第40回大会関連で、大会分科
会の担当県分担について、本県
は、第39回大会に引き続き「地
域づくりと公民館」を担当する
こととなった。

なお、大会会場は、近々新装
完成予定の静岡県コンベンショ
ン・アーツセンター「グランシッ
プ」で、この施設完工と併せ、
JR東静岡駅も新設オープンす
るとか。

(4)平成11年度関ブロ公連役員は
会長に静岡県公連会長が、副会
長には、山梨県公連会長、茨城
県公連会長が就任予定である。

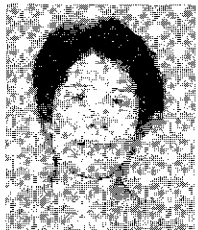
(5)平成11年度関ブロ公連第1回
理事会在は、5月27日(木)28日(金)
第40回大会開催地の静岡市で開
催予定である。

(6)その他の事項では、全公連の
月刊公民館1月号の記事がらみ
の要望で、購読数を増やすとい
う観点から、読者の声、意見が
反映されるようなコーナーが欲
しいとか、通信連絡員等の活用
により、読み手の心を捉えた編
集を、との要望が出された。



静岡県庁での第2回理事会在

集を、との要望が出された。



視点

女性問題 題って何? ジェンダーって どういう意味? なぜ 今、改めて 男女共生なの? 今迄 だってそれぞれに役割 分担してうまく暮らして きているじゃないの? これが、今から七 年前公民館事業に男女

会を提供し意識啓発に 努めてきた。そして昨 年女性の行動計画「雪 のまちいきいき女性プ ラン」を策定し、その 実現に向けてアクション を起こしている。

「心」の豊かさが求め

共同参画の町づくりを 取り入れた時の住民の 皆さんの疑問の声だっ た。

その後毎年女性問題 や社会参加、自分らし い生き方などについて の語り合いや学習の機 会がはじまり、各種委員

一人の百歩より百人の一步

男女が共に歩むまちづくり

春日サヨ子

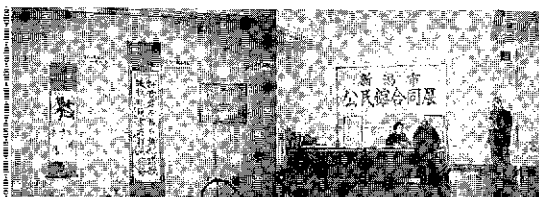
会への女性の登用を積 極的に検討され、その 数も年々増加している ことはとても嬉しいこ とである。

21世紀は、「物」より 「心」の豊かさが求め

暮らしの中の女性問 題に気づき始め、でき ることから変えようと 行動を起こし始めた女 性たち。夫婦で活動を 始めた人々。会合に女 性の参加を進める地域 が出はじめ、各種委員 の課題も大きい。

豊かな感性や、生活 者の視点を持つ女性の 方針決定の場への参画 がこれから必要不可欠 であろう。雪のまち安 塚の男女のパートナー シップづくりは、「一人 の百歩より百人の一 歩」を合言葉に、楽し く、やさしく、したた かに進めたいと思う。

(安塚町公民館長)



第8回新潟市公民館合同展開催さる

○会期 1月27日(水)~31日(日)

○会場 新潟市美術館

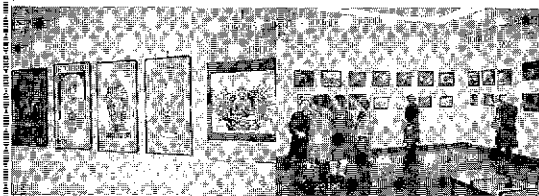
新潟市内の10地区公民館で学習する美術・手工芸・文芸関係のグループが、一堂に作品を展示し、学習の成果の発表と交流の場とするため、平成3年度から始められたそうです。

現在、新潟市内の全公民館で活動している美術・手工芸・文芸関係のサークルは361団体、5,648人だそうです。

取材、参観当日は、降雪の昼休みでしたが、大変多くの方々が観覧中でした。すばらしい施設の中で、レベルの高い作品が多かったようです。長谷川市長、今井会長の書も展示されていた。

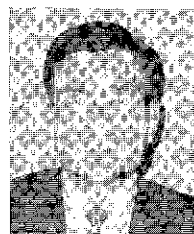
10年度出品内訳

・絵画	432	・写真	26
・篆刻	11	・手工芸	139
・書	132	・文芸	8
		・計	748点



公民館活動の現状に思う...

三条市大島公民館運営委員長 石田守男



生涯教育、いつでもどこでも、誰でも学習出来る

いるが特効薬とはならない。また、時代の流れで致し方ないと思うが、青・壮年層の出席が少くないのも現状である。

生活様式が多様化し、一人ひとりの知識、技術を習得するには、周囲には適切な機関・環境が整っており、わざわざ公民館を利用しなくても学習出来る、と云う人もいます。しかし公民館学習は、それらには得ることが出来ない多くの人達との協調性が生まれ、より豊かで住みよい生活環境を築き上げる原動力となる大きな使命があることを、忘れてはならないのである。

ひろば

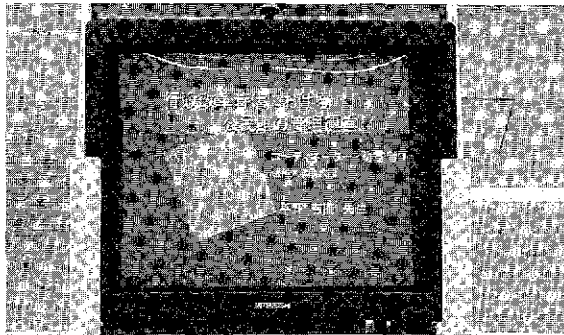
今後、更に進むであろう少子高齢化社会に向かって高齢者が、地域と関わりあいながら、より楽しく健康で過ごせるか、また二十一世紀を担う子供達を、学校、家庭と地域社会が一体となって健全に育成するか、公民館の果たす役割は、はかり知れないものがあると思う。より地域に密着した、魅力ある公民館活動をどうしたら活性化することが出来るか、悩んでいる昨今です。

この様な時代の中に、公民館の学習活動を、いかに活性化するか、大変難しい現状に突きあたっております。

私達の公民館でも多くの学習メニューを計画し、活動しているが、一番の悩みは参加者の減少である。以前は純農村であったが混住化が進み、しかも国道八号線が縦断する細く長い地域である。その為、少しでもその地域に密着する活動をと、出前公民館と称して、各集落の集会所を会場として行事を計画して

セミナー参加報告

国立オリンピック記念青少年総合センターが、その研修報告記である



一、はじめに
この度、「公民館と行政改革」を主題とした生涯学習推進研究協議会(通称・公民館全国セミナー)が開催されるというお話をいただいた。

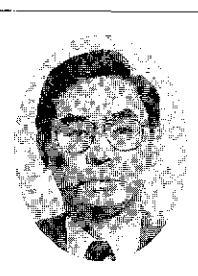
上越市では、ちょうど今「上越市生涯学習推進基本構想」「同・基本計画」を策定中であり、また、国や市町村においても地方分権、規制緩和等の行政改革が進められ、上越市もその例外になく、副市長制の導入や行政組織の見直しが予定されている。教育行政の一翼を担う公民館もその対象外では在り得ない今こそ、是非このセミナーに参加したいと希望した。

セミナーでは、生涯学習審議会で中間答申をまとめられた文部省生涯学習局の大西社会教育課長や審議会委員等の方々から、これまでの審議過程や答申のポイント、裏話に至るまで貴重なお話があった。

二、公民館と行政改革
さて、中間答申「社会の変化に対応した今後の社会教育行政の在り方について」第3章・第1節・1・(1)「地方公共団体の廃止・緩和」の各項に明記されているとおり、これからの公民

館運営や生涯学習は、住民に一番近い市町村(公民館)が、住民のニーズを的確に把握して、「自分のことは自分でしなさい。」という新たな取組が求められている。

学習者から見れば、学習サービスの提供者が誰であるかは、それほど重要ではない。むしろ学習サービスが自分に合った内容や水準であり、かつ、場所的・時間的にも都合がよく、なお安い費用で参加できることが挙げられている。



これからの公民館 上越市立公民館長 渡辺 隆 雄

また、同時に国や地方公共団体、大学、研究機関、民間団体等が持っている学習資源(人的・物的)の情報等を調査・収集し、その情報を各市町村が共有し合えるようなネットワークづくりが必要であるとしている。

三、〇〇地域振興協議会
公民館制度は、戦後の民主化、大人の学校、学校へ行けなかつた勤労青年少年等の代償施設として誕生した。そして、青年団・婦人会等の拠点施設としても住民相互が連携し合いながら地域

の振興を牛みだし、現代社会の礎としてその使命を果たしてきたことは改めていうまでもない。そこで私は、予てから調べて見ようと思っていた各市町村の中学校、或いは合併前の旧村単位に全国的に組織されている「〇〇地域振興協議会」(以下、「協議会」という。)が何時どうして組織・発足したのか。一説には、公民館制度が発足した当時、公民館(自治体)が指導して組織化を進めて行った、という話を聞いた。

特に、この協議会が当時の町づくり、村づくりの推進主体として大きな原動力となり、住民相互の交流、学習、文化・産業の振興等、公民館の草創期を担っていたとすれば、今も正に、公民館と協議会の連携は、これから歩もうとする公民館の方向にびったり一致すると考えたからである。

そこで、この機会に協議会の経緯、目的等について、セミナーの参加者や講師の先生方に伺って見た。このセミナーの司会者

で、元・文部省社会教育課長の加藤さんは、「当時、文部省が公民館の設置運営に関してどのような指導したかは定かではないが、各地の説明会等で、指導したことは十分考えられる。」という。

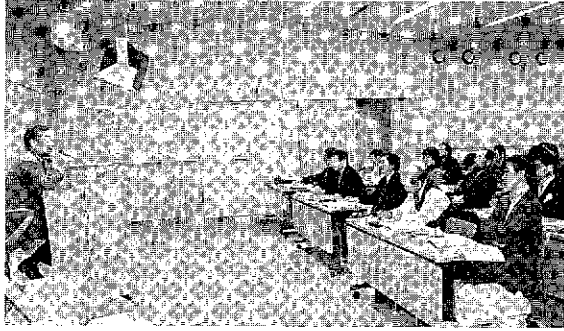
そして、三重県の公民館連合会の方は、「今もそのような記録が残っている。」と云う。

また、熊本県の免田町では、町長が今も公民館長を兼務している。その他にも、総務課長が公民館長を兼務していたり、十五の分館長が全て課長職のところ、公民館を市の中枢機関に位置付け職員のエリートコースになっているところもあるようだ。

四、原点に立ち返って
従って、これからの公民館が、生涯学習社会や行革に的確に对应して行く鍵は、前述のように、公民館は公民館の原点に立ち返り、各地区に現存している協議会と、以前のように強力に連携し、協働しながら、住民本位の公民館事業を進めて行くことが一つの方策であり、近道であると思う。

公民館は、これからも地域住民の拠点施設であり、そうでなくてはならない存在だと私は思う。ともに頑張ろう。

公民館は、これからの地域住民の拠点施設であり、そうでなくてはならない存在だと私は思う。ともに頑張ろう。



《研修報告記》

第10回公民館全国

去る1月28日から30日にわたり東京
夕一会場で各都道府県から参加して行

新潟市の山の下地区に位置する中地区公民館に、平成十年四月から八カ月がたとうとしています。

社会教育行政に携わるのは初めての経験でしたから、戸惑いながら、まず公民館を知ることが第一歩でした。

最近ようやく公民館活動の概要がわかりかけたところで、この公民館全国セミナーに参加する機会を与えていただき、次のステップが踏み出せたのではないかと考えております。

公民館と行政改革というテーマで講義が行われ、地方分権・規制緩和に伴う公民館のあり方について研修させていただきましたが、その内容について簡単に報告させていただきます。

(1) 公民館と行政改革

文部省生涯学習局社会教育課長大西珠枝氏は、分権とは国の過度の関与を廃止し、地方の自主組織権・自主決定権により、自由な公民館活動を促進することが目的である。

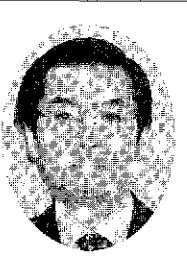
今までの教育は「全国一律にやらねばならぬ」から「多様性の教育」となりつつある。そのため地方分権・規制緩和である。

公運審に関しては、必置規定

の廃止であって、公運審の廃止ではない、ということを確認されました。

(2) 行政改革時代における公民館の今日的役割

続いて、生涯学習審議会委員でもある筑波大学の山本恒夫教授から、公民館の存在意義は、地域の学習施設として地域の中心的存在であり、今後は「学習情報提供」と「学習相談事業」の充実を図っていくことがより重要となる。従来のピラミッド型社会からネットワーク型社会



「公民館と行政改革」

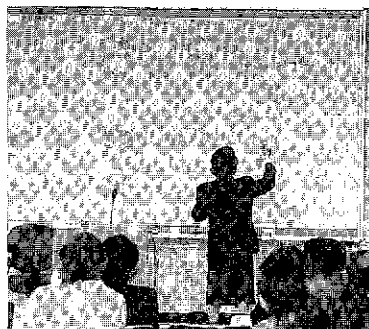
新潟市中地区公民館長 池田 順一

へと移行する中で、今後は情報化の必要性は重要であり、公民館においてもマルチメディア機器の導入を推進することが課題ではなかるうか。と先進的な意見を述べられました。

(3) 公民館の効率的運営

同じく生涯学習審議会特別委員の静岡大学の角善教授からは、豊かな社会の錯覚(他人依存・お金を出せば自分でしなくとも他人がやってくれる)に問題があり、自分で物事をやるという価値をもう一度考える時期

にきているのではないかと、現在のひずみを指摘され、公民館はこの価値感の変化をプログラム編成に取り組むことが必要であり、そこに地域の人々の創意工夫を取り入れ、考えを広げることが大事なことであり、との提案がなされました。二十一世紀において、我が国が活力ある成熟社会として発展するため、あらゆる社会システムの基礎となる教育の役割はきわめて重要であり、政府においても、教育改革を六大改革の一



に決められるシステム、住民自治の仕組みを作りあげることとされています。山本教授は、地域には伏流水(知恵)がある。科学技術にとどまらず、生活全体、人間にかかる物質的・精神的な創造性ある人間を育てなければならぬと語っています。現在、中地区公民館を利用されている人口は約四万八千人ですが、新潟市内十カ所の公民館のうち高齢者数は第二位を占めています。

この多くの人たちの知恵を生かしながら、よりよい地域のまちづくりや、福祉、教育のあり方を、住民自身が参画して最終的に決められるシステムを作りあげることができるよう、私も公民館職員として一緒に進めていきたいと思っています。

実践記録シリズ (33)

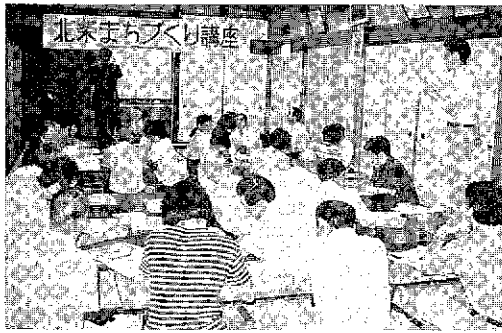
柏崎市北条

生涯学習のまちづくり

柏崎市北条公民館
柏崎市北条コミュニティ

一 まちづくりの原点
地区民及び諸機関・団体・サークルで構成する北条コミュニティは、北条公民館と共に北条のまちづくりを進めています。

「まちづくり」、それはこのまちが好きたという「ふるさと愛」と「生涯学習」が原点でありました。



二 共に学び、共に見つける地域の課題

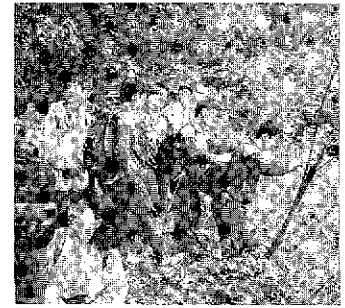
① 北条ふるさと塾

平成八年度、公民館・コミュニティ・総代会の役割と連携の在り方、そして地域活性化に向けた地域課題をみんなの手で見直そうというねらいのもとに、公民館事業として開設しました。結果として、コミュニティ組織を改革することができました。

② 北条まちづくり講座

しかし、新しいコミュニティ委員が活動を展開するには、地域活動の基本的概念、基本的知識、実践的手法を学ばなければなりません。そこで、平成九年度にこれらを学習課題として、公民館とコミュニティが共催で実施しました。

この二つの講座で、コミュニティ委員はやらされている意識から、自分たちがやる地域活動へ、そして地域課題を見つめる



目やコミュニティへの情報提供

等色々な面で大きく成長してくれました。かつての公民館で集める学級・講座から、住民主体の学習へと見事に変身しました。

三 まちづくりの事例

① 「北条にしえロード」創出
地域の文化、歴史、名所などをネットワーク化、マップにまとめ、広くふるさと北条を紹介。ボランティアガイドの養成へ。

② 弘法大師伝説のミュージカル
塩の入らないあずき粥を一夜のもてなしを受けた大師は、貧しい老婆に塩水井戸を授けたという伝説。この伝説を中心にした、地区民総参加によるミュージカルの創作・上演に向けた取り組み。平成十一年度の公演へ。

③ 「ギンナンセミナー」
米以外の収益に結びつく特産品を模索。結果、昔から栽培されていた「ギンナン」に注目し、商品価値を高めるための栽培技術を学ぶ。荒地の再活用と勤労

意欲の増大を図ることから、現在は組合設立のための研究会を発足。併せて、調理法の工夫へ。

④ 「地区民八石山登山」
「八石山」の荒廃を見かね、もつとふるさと山を愛し、親しんでもらおうと、登山道整備や避難小屋、トイレの設置などすべてが住民の自主的な活動で山が復活。これを機に「八石の自然を守り親しむ会」が発足。市民も巻き込んだコミュニティのメイン行事の一つに。また、中学生による樹木の名札付け、ブナやサクラの植樹なども定着し、自然な形で学社組合も。

⑤ 「北条クリーン作戦」

ゴミなどの不法投棄の実態調査とその回収。投棄防止の看板設置。また、地区内一斉の「グリーンデー北条」を年二回実施。町内会や老人クラブ、保育園

などの協力を得ながら、ロードに適した花の選定と育苗、肥料管理などを学び、初めてのフラワーロードへの挑戦。そこには感動とふるさと愛が。

⑥ デイホームの開設・運営

市から設置・運営の要請があったコミュニティ・デイホーム(二カ所)を地区で受け入れ、主体的な運営を開始。

四 生涯学習のまちづくり

私たちの北条では、まちづくりを進めるために、あるいは課題を解決するために公民館で学習します。そして学んだことはそのままコミュニティ(地域)活動に生かしております。

みんなで考え、みんなで学び、共に行動して住みよいまちにしていこうというスタイルが、北条の「生涯学習のまちづくり」です。(指導員 戸田 洋子)

平成 8 年度北条公民館学習計画表

回	学習課題	学習方法
1	コミュニティって何だろう	講義・討議
2	コミュニティの課題を探る	討議
3	住民主体の地域づくり	講義
4	北条を彩る諸団体	調査・整理
5	市内コミュニティあれこれ	研究・討議
6	市外コミュニティとの交流	交流
7	コミュニティの出番・公民館の出番	講義
8	これからのコミュニティ I	研究・討議
9	これからのコミュニティ II	研究・討議
10	これからのコミュニティ III	研究・討議と研ま
11	幻想「狐の夜祭り」	見学
12	繋る北条コミュニティ	提言・広報

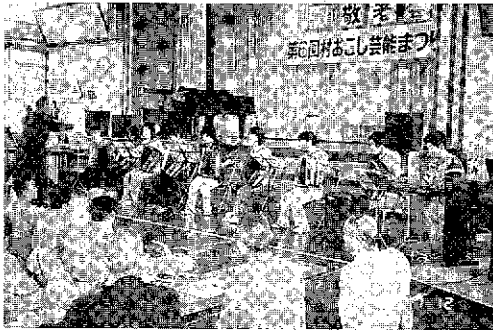
サークル交流

「人と人」「音と音」の 出会いを大切に!!

つくしバンド

公民館を活動の場に行っている
婦人学級生に、「今度、楽器で何
か演奏して見たいね。」と話しか
け、誕生したのが「つくしバン
ド」です。

指導者に小学校のI教頭先生
をお願いし、バンド名も、つく
しのようにすくすくと伸びて欲
しい、と名付けて頂きました。
メンバーは、男女五歳から六
十歳代の約二十数名で、正に世
代間交流の場でもあります。



さてスタートも一年程前(月
二回)から学校をお借りし、楽
しい中にも時には厳しく指導さ
れ、今では、夢中で練習した曲
も、いつしか口ずさむようにな
りました。そして、地域の敬老
会や文化祭等にも出演し、満足
感・充実感を味わっています。

また、昨年の秋に小学校と共
催で、西アフリカのコートジボ
アールの打楽器演奏を聴き、音
楽を通して心が一つになるすば
らしい国際交流を体験しまし
た。

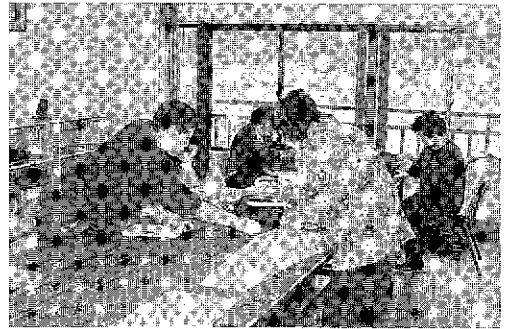
このように、人・音との出会
いを大切に、一層の仲間づくり
にがんばりたいと思います。
(糸魚川市根知公民館
副主事 小田島みわ子記)

思い出の洋服を 再び身につけて:

リホーム洋裁教室

リホーム洋裁は、使い捨て時
代の近年にはちよつぱり時代遅
れと思われるでしょうね。

このグループは、若い頃に着
た洋服(彼からプレゼントされ
た思い出の、フフフ?)をもう
一度着てみたいと思う、ちよつ



ぶり太目のおばさんグループで、
もう二十年近く続いています。

サイズ直しの他に、古い洋服を
数枚使い、老化しつつある脳細
胞に「ムチ」を打ちながら、皆
でデザインを考え、作りあげた
作品を身につけたとき、喜びを
感じている楽しいグループです。
本当であれば、太目の体が入ら
なくなつた大切な洋服は、今頃
「ゴミ」ですね。リホームする

ことによつて、「思い出の品物」
がもう一度生きるとしたら、な
んとなく「得した」という気持
ちになり、また次の作品作り
楽しさが増してくるよう思い
ます。ぜひ一度、皆様もリホー
ムの楽しさを感じて下さい。

(津川町リホーム洋裁教室
高橋 八重子記)

柏崎市柏崎公民館

主査 植木 馨 さん

「趣味や教養の追求は、個人
が自ら力を入れていった方が成
果が高まるだろうし、いつまで
たつても公費でというのは考え
ものですね」と、最近の植木君
の一言に驚かずにいられない。

公民館二年目にして、今置か
れている公民館の課題を鮮明に
とらえているものである。公務



を離れて
も、生涯学
習グループ
で学習活動
を重ねる頼

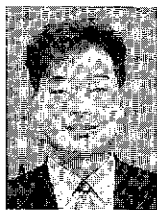
素顔 拝見

牧村公民館

主事 金井元樹 さん

仕事柄、公民館に集まる実年
以上の年配者を中心に幅広い人
気を集めている彼を紹介します。

昨年四月に公民館に配属、税
務畑で培った緻密な計算力と、
ソフトな人当たりを駆使し、担



でも出かけ
る趣味と行
動力のある
青年です。
フタライ

当する高齢者教室・成人教室等
の公民館事業は笑顔を決やさ
ず、毎日正確な仕事をしていま
す。普段の優しさ、スポーツ
の逞しさを兼ね備えて、冬は板
を愛車に載せてスキー場へ、オ
フは野球とドライブを楽しみ、
カメラをバッグに詰め込みど

もしい中堅バレーの台頭である。
生涯学習課・公民館・勤労青
少年ホームの「三足わらじ」も
何のその。持って生まれた優し
さと、スポーツマンシップで誠
心誠意を尽くす。その対応は、
地区公民館やホーム利用のヤン
グに熱い信頼を得ている。
得意分野では、地区公民館
情報ネットワーク化と、支援シ
ステムの研究に余念がない。
そんな彼も、最近「三人の
子供から教えられることが多
い」という、よき父親である。
(柏崎市柏崎公民館副主事
品田 尚道 記)

(同館主事 金井 英孝 記)



第32回

欧州社会教育事情視察報告

(社)全国公民館連合会

先人たちが欧州の社会教育を現地で学び、その記録を残してからもう32回目を迎えたそうです。

今回は、フランス、イギリス、スイス、イタリアの4カ国に滞在しながら、2週間にわたって見聞され、中でも公式訪問先5カ所を中心に、6人の団員の方々がそれぞれ手分け分担し、

恵贈資料紹介

新潟市教育委員会 (担当 生涯学習課)

『にいがた市民文学』創刊号

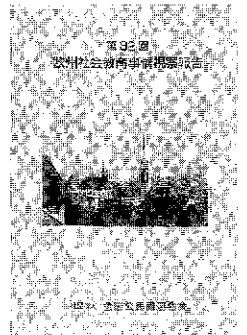
17年間にわたって市民の文芸誌として親しまれてきた「文芸にいがた」が面目を一新し、「にいがた市民文学」として創刊され、県公連へも寄贈していただきました。

コント部門新設等、内容を充実、発展させての創刊、誠にためたい次第です。12歳から92歳までの、幅広い年代層から五百七十七編の応募。とくに10代から30代までの若年

まとめ、報告書として作成されたそうです。そのあとがきにも、現地通訳を介してのやりとりだったので正しく再現、記述するため全員が一生懸命取り組みだつたり、と記されております。

当連合会からも、十日町市公民館社会教育主任横沢秀子さんが団員として参加され、イギリスの「フロッジアススポーツセンター」を訪問して」と、イタリ

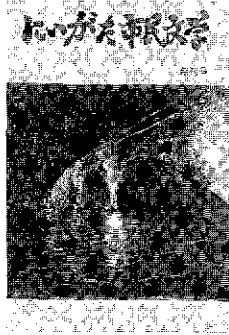
層の増加が著しいそうで、これらも希望、夢につながるようです。表紙絵 松田忠三画「夜の誘惑・万代橋」の色彩と、長谷川義明新潟市長の題字が、妙に荘重な感じを与えてくれるようです。



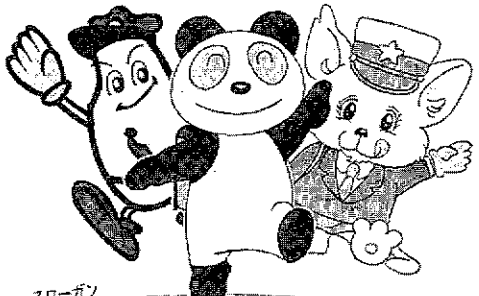
アの「高齢者レクリエーションセンター」を訪問して」と題して、報告レポートを載せておられます。(なお詳細は月報1月号特集欄を参照されたい)

百聞は一見にしかず、とよく言われますが、現地に学ぶことの大切さが、どのレポートにもうかがわれます。次回への積極的な参加を期待しております。

名・無記名選の違い等、表からは垣間見ることできない選後評に触れ、おもしろく感じました。入選の知人名も一三あるもので、ゆっくり読みたいものです。



平成11年
春の全国交通安全週間
期間 5月11日(火)から5月20日(木)まで



スローガン 争うよ かわいい子どもとお年寄り

重点 子供と高齢者の交通事故防止
シートベルトの着用の徹底とチャイルドシートの着用促進

主催 新潟県交通安全対策連絡協議会

第2回編集委開かる

去る3月1日(月)、第2回月報編集委が新潟市中公で開催された。今回は、月報の11年度特集記事内容について検討し、月別計画に採り入れることとした。

あとがき
◇もう三月を迎えています。理事会、編集委も予定どおり終了、第50回県大会の準備、中公連との連携をとりながら進めたものです。また、「地域づくりと公民館」がとても好評のよう

で気分良好です。(鈴木記)

表紙解説

黒埼太鼓

黒埼太鼓は、町制施行25周年に旗揚げをし、祝賀会のアトラクションでは、黒埼太鼓振興会の18人による初披露も行われました。

(黒埼町公民館)

発行所 新潟県公民館連合会
〒951-8053
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【TEL・FAX (025)224-6073】
発行人 会長 今井昭友
編集人 事務局長 鈴木友夫
【定価1部150円 年共・年極1,800円】